

NO	ページ	箇所	現行の記述	修正後の記述
1	63	上から12～13行目	そのため、「5.3支持地盤」に示した内部摩擦角φは、……	そのため、「5.4背面盛土」に示した内部摩擦角φは、……
2	111	解説図7.3.1	図のタイトル:「土留め擁壁の変状例」	図のタイトル:「抗土圧擁壁の変状例」
3	146	解8.3.4-1	$H_{Rd} = \gamma_{Hi} \cdot P_{fh} + \dots$	$H_{Rd} = \gamma_{H1} \cdot P_{fh} + \dots$
4	146	解8.3.4-2	$M_{Rd} = \gamma_{Mi} \cdot M_{pf} + \dots$	$M_{Rd} = \gamma_{M1} \cdot M_{pf} + \dots$
5	172	フロー中段右	完成形の外的安定の照査	文言は変えずに、フォントを明朝とする。また、位置を鎖線枠の左側に移動する。(「完成形の内的安定の照査」や「施工時の内的安定の照査」と同様)
6	172	フロー中段右	壁体の照査	文言は変えずに、フォントを明朝とする。また、位置を鎖線枠の左側に移動する。(「完成形の内的安定の照査」や「施工時の内的安定の照査」と同様)
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19	187	解説図9.1-1	図中の【土のう部(セメント未改良)】	図中の【土のう部(セメント非改良)】
20	227	解説図9.3.4-1(c)	図面中の【セメント改良礫土】と【背面土】に自重と慣性力の記載なし	図面中の【セメント改良礫土】と【背面土】に自重と慣性力の記載を追加(別途資料参照)
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31	250	1行目	○線路下横断構造物に代表される…… →スペースが2つある	○線路下横断構造物に代表される…… →スペースを1つに修正
32	344	参考文献の1)	1)地盤工学会:地山補強土工法の適用・評価に関する研究委員会報告書, 2008.3	1)地盤工学会:地山補強土工法設計・施工マニュアル, 2011.8
32				

